

# 定植前リン酸苗施用による野菜のリン酸減肥栽培



(独)農研機構 東北農業研究センター



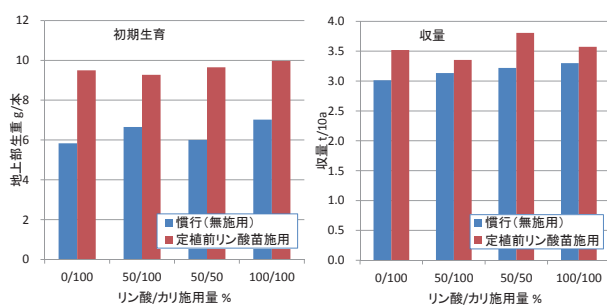
定植前リン酸苗施用による野菜のリン酸減肥技術を実用化するために、その継続性、安定性、適用条件を調べました。スイートコーン、キャベツでは3年間効果が安定して継続しました。それら以外の品目では、ネギで高い効果が確認され、初期の生育が促進されることによって収量が高まりました。

## 1 定植前リン酸苗施用とは？



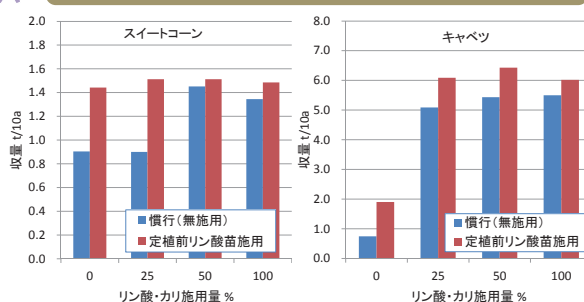
- 定植直前に野菜の苗をリン酸液肥(リン濃度0.5～1.0%)に浸して十分吸収させてから、畑に植える方法です。
- それによって、初期の生育が良くなり、畑に施用するリン酸を大幅に減らせることが分かっています。
- 上の写真は、ネギ生育初期の様子です。

## 3 ネギ栽培への適用



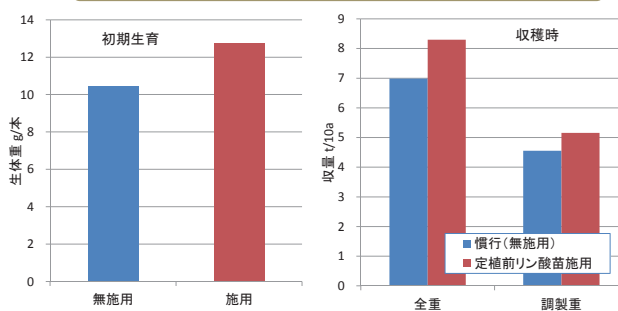
- 9月どりのネギを連作しました。上の図は3年目の結果です。
- 定植前リン酸苗施用を行うことによって、初期の生育が非常に良くなりました。
- 定植苗リン酸施用を行った場合には、畑にリン酸を施用しなかったり、リン酸とカリを50%に減らしても、収量が少なくなることはありませんでした。

## 2 スイートコーン-キャベツの輪作栽培



- スイートコーン(夏作)とキャベツ(秋作)を輪作栽培しました。上の図は、3年目の結果です。
- うねの部分にだけ施肥するうね内部分施用と定植前リン酸苗施用を組み合わせることによって、リン酸に加えてカリも50%以上削減しても収量は減りませんでした。

## 4 現地でのネギの実証試験



- 山形県河北町のネギ栽培農家圃場において、定植前リン酸苗施用の増収効果を検証しました。作型は8月どり、化学肥料は窒素も含めて50%削減しています。
- 初期の生育促進はそれほど大きくありませんでしたが、収量は1割程度増えました。
- 今後、経営的評価も併せて行う必要があります。